

## II. 結果の要約

### 1 出生数は減少

出生数は 6,070 人で、前年の 6,465 人より 395 人減少した。

出生率（人口千対）は 6.5 で、前年の 6.9 を下回った。

合計特殊出生率は 1.48 で、前年の 1.52 を下回った。

### 2 死亡数は増加

死亡数は 13,062 人で、前年の 12,772 人より 290 人増加した。

死亡率（人口千対）は 14.1 で、前年の 13.6 を上回った。

死因別に見ると、死因順位の第 1 位は悪性新生物、第 2 位は心疾患、第 3 位は老衰であり、全死亡者に占める割合は、それぞれ 25.4 %、17.2 %、9.5 %となっている。

### 3 自然増減数は減少

出生数と死亡数の差である自然増減数は△ 6,992 人で、前年の△ 6,307 人より 685 人減少した。

自然増減率（人口千対）は △ 7.5 で、前年の△ 6.7 を下回った。

平成 10 年以降は、毎年死亡数が出生数を上回っている。

### 4 死産数は減少

死産数は 125 胎で、前年の 150 胎より 25 胎減少した。

死産率（出産千対）は 20.2 で、前年の 22.7 を下回った。

### 5 婚姻件数は減少

婚姻件数は 3,785 組で、前年の 4,041 組より 256 組減少した。

婚姻率（人口千対）は 4.1 で、前年の 4.3 を下回った。

### 6 離婚件数は減少

離婚件数は 1,686 組で、前年の 1,714 組より 28 組減少した。

離婚率（人口千対）は 1.81 で前年の 1.83 を下回った。

※表中の数値は、四捨五入によっているため、端数において合計が一致しない場合がある。

### 7 「IV 統計表」の過去の数値について

平成 16・18・21～29 年の統計表について、厚生労働省から修正の報告があったため、修正が生じた箇所には下線、今後修正される可能性がある箇所は（ ）書きにしています。